

令和3年3月24日

保護者様

千葉大学教育学部附属特別支援学校
校長 細川 かおり

令和2年度学校評価アンケートの結果について

ご多忙にもかかわらず、令和2年度学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。
学校評価の概要についてお知らせいたします。

本アンケート結果をホームページに公表するとともに、5月に行われる予定の附属学校学校
評議員会での評価を踏まえたものを、再度、ご報告させていただきます。

※（A＝そう思う）（B＝まあまあそう思う）の合計数値を肯定的評価として、自己評価をして
います。

I 情報発信・連携について

項目1～4までの設問では、保護者が95%以上、職員が90%以上の肯定的評価でした。次
年度も学校目標や学校運営の重点目標を説明する機会を確保し、これまで以上にていねいな説明
を心がけていきます。自由記述の欄には、連絡帳などの記載について評価いただいている声もあり、
引き続き丁寧に子どもの様子を伝えていきます。項目5については、C評価が15%あり、
職員からもC・D評価あわせて32%となっています。今年度、コロナ禍の影響を受け、例年行
っていた交流が中止となるなど、交流及び共同学習の機会が不十分であったと感じられますが、
過去の評価を見ると、同程度の評価となっているため、継続的な課題となっていると捉え、取り
組みを行っていきます。附属学校の特色を生かした交流や大学との連携を進めていきたいと思
います。

II 環境・安全について

大規模な改修工事が終わったことから、校内環境が整い、各項目で高い評価を得られました。
一方、項目6の評価を見るとB評価が多く、自由記述でも環境整備について指摘が上がっていま
す。定期的な清掃活動を行い、環境維持に努めていきます。安全の面では、項目10の災害対応
について課題が指摘されています。PTAとの連携による災害時等の対応見直しが滞っているこ
ともあり、早急な実現を目指し、取り組んでいきます。あわせて学校危機管理マニュアルの見直
しを行い、安心・安全な学校づくりを目指していきます。

III 年間計画・行事について

項目12以外は95%以上の高い評価をいただいています。自由記述にも運動会中止について
残念な声があり、項目12については、そうした影響も考えられます。項目11の職員評価を見
るとC評価が24%と多くなっています。児童生徒の主体性を大切にしながら「何を学ぶのか」
をより明確にし、これまでの取り組みのよい部分を継続しながら児童生徒の実態に合った適切
な内容の精選を進めていきます。

IV 教育活動について

どの項目も保護者と職員の評価の傾向が一致しており、項目15、16、19、21については90%以上の高い評価を得ています。項目18の進路に関する情報提供や研修会については、今年度、研修会の実施ができなかった影響が大きいと思われます。進路に関しては、学校卒業後の生活に関わる大きな事案であるため様々な形態で情報提供に努めていきます。項目20と項目22は70%台となっており、課題点として捉えております。地域資源の活用や地域貢献について今年度はコロナ禍の影響で、校外での活動が少なくなってしまったこと、地域との関わりが少なくなってしまったことがあげられます。安全を確認しながら、地域資源を活用した学習活動を計画していきます。ICT機器の活用については、タブレット機器の整備に伴い、積極的に学習活動で活用し、学習の様子についても伝えていきます。

V 職員について

項目23、24は、保護者、職員ともに95%以上の肯定的評価でした。項目25については、職員評価が88%にとどまっており、保護者の自由記述の中にも、あいさつや言葉遣いについての指摘があるなど課題も見られます。日頃の振る舞いについて振り返り、信頼感を高めていけるように学校として努めていきます。

VI 児童・生徒について

すべての項目で90%以上の高い評価を得ています。学校に行くことを楽しみにしている朝の様子について保護者からの自由記述があるなど、学校としてうれしく感じるとともに、より一層、児童生徒たちにとって魅力のある学校生活づくりを目指していきます。一方、職員評価では、項目28にB評価が多くなっていることやD評価も見られることから、社会生活につながる力を確実に身につけていくことができるように教育内容の見直しを行っていきます。

今回のアンケートでは、本校に対する様々な思い、ご意見、ご要望など多数いただきました。学校として真摯に受け止め、今後も保護者の皆様のご協力をいただきながら、子どもたちのためによりよい教育実践を行って参ります。

学校評価アンケートのまとめ

- (1) 対象者：保護者（回収率67.3%） 教職員（100%）
 (2) アンケート項目：保護者28項目 教職員32項目 ※1から28項目までは共通
 以下、質問項目及び結果を示す。

【評価基準】 A=そう思う B=まあまあそう思う 肯定的評価
 C=あまりそう思わない D=そう思わない 否定的評価
 ※数値の単位：A～Dは% 無回答は人
 （無回答を除外した数を母数として算出）

I 情報発信・連携

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H30	R1	R2	
								肯定的評価	肯定的評価	肯定的評価	肯定的評価	否定的評価
1	保護者に、学校目標や学校運営の重点目標をわかりやすく伝えている。	保護者	65%	33%	2%	0%		88%	90%	90%	98%	2%
		職員	36%	56%	8%	0%		89%	94%	97%	92%	8%
2	保護者に、各種たよりや連絡帳等で、必要な情報や子どもの様子をわかりやすく伝えている。	保護者	78%	17%	4%	0%		92%	96%	95%	96%	4%
		職員	56%	42%	0%	3%		100%	100%	100%	97%	3%
3	ホームページや学校公開（土曜スクール、学校見学会、オープンスクール）、公開研究会等で学校のことを外部に発信している。	保護者	54%	41%	4%	0%		90%	94%	95%	96%	4%
		職員	69%	28%	3%	0%		96%	97%	97%	97%	3%
4	担任や学校は、保護者の声に耳を傾けて、連携を取りながら、教育活動や学校運営を行っている。	保護者	80%	15%	4%	0%		94%	90%	93%	96%	4%
		職員	61%	36%	3%	0%		100%	100%	97%	97%	3%
5	学校は、大学、附属学校園との連携、交流及び共同学習を進めながら学校運営を行っている。	保護者	43%	41%	15%	0%		86%	89%	80%	85%	15%
		職員	14%	50%	33%	3%		78%	85%	74%	64%	36%

II 環境・安全

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答	H29	H30	R1	R2	
								肯定的評価	肯定的評価	肯定的評価	肯定的評価	否定的評価
6	学校内は、美化・整理整頓が行き届き、清潔感がある。	保護者	80%	20%	0%	0%		74%	78%	88%	100%	0%
		職員	22%	61%	17%	0%		64%	79%	82%	83%	17%
7	子どもが安心して学べるよう、安全な校内環境になっている。	保護者	83%	17%	0%	0%		84%	90%	93%	100%	0%
		職員	33%	58%	8%	0%		86%	82%	74%	92%	8%
8	校内に掲示されているお子さんの作品や活動の様子は、分かりやすいものになっている。	保護者	89%	11%	0%	0%		94%	98%	98%	100%	0%
		職員	58%	39%	3%	0%		96%	97%	97%	97%	3%
9	子どもの様子の変化に目を配り、病気やけがの際の対応を適切に行っている。	保護者	72%	28%	0%	0%		94%	96%	95%	100%	0%
		職員	58%	39%	3%	0%		82%	100%	100%	97%	3%
10	学校は、地震災害への対応や、事故を防ぐための対応など、安全管理や危機管理に努めている。	保護者	50%	39%	11%	0%		96%	92%	88%	89%	11%
		職員	22%	53%	25%	0%		96%	91%	88%	75%	25%

Ⅲ 年間計画・行事

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答					
11	年間の計画は教職員、子ども、家庭にとって無理のない、適切なものになっている。	保護者	76%	22%	2%	0%		90%	88%	98%	98%	2%
		職員	14%	58%	25%	3%		71%	88%	85%	72%	28%
12	魅力のある学校行事（運動会やふよう祭など）が実現されている。	保護者	63%	30%	7%	0%		88%	90%	93%	93%	7%
		職員	33%	58%	6%	3%		89%	97%	97%	92%	8%
13	入学式・卒業式など儀式行事は、趣旨に合った適切なものとなっている。	保護者	65%	33%	2%	0%		92%	96%	95%	98%	2%
		職員	36%	56%	6%	3%		96%	97%	100%	92%	8%
14	各学部の行事は、子どもたちの発達段階に応じた適切なものとなっている。	保護者	74%	26%	0%	0%		92%	92%	95%	100%	0%
		職員	50%	50%	0%	0%		100%	100%	100%	100%	0%

Ⅳ 教育活動

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答					
15	教育活動は、子どもたちが自分から目当てと見通しをもって意欲的に取り組める内容となっている。	保護者	70%	30%	0%	0%		96%	94%	98%	100%	0%
		職員	42%	58%	0%	0%		96%	97%	100%	100%	0%
16	各学部の教育活動は、卒業後、自立し、働く活動を中心とした社会生活につながるような内容となっている。	保護者	57%	39%	4%	0%		92%	88%	90%	96%	4%
		職員	42%	50%	8%	0%		96%	100%	100%	92%	8%
17	教育課程の中心となっている、遊び、日常生活の指導、生活単元学習や作業学習は、児童生徒の成長に十分効果を発揮している。	保護者	67%	33%	0%	0%		92%	92%	95%	100%	0%
		職員	44%	53%	3%	0%		96%	94%	100%	97%	3%
18	進路に関する情報の提供や研修会は十分に行われている。	保護者	37%	48%	15%	0%		84%	94%	90%	85%	15%
		職員	25%	53%	17%	3%		96%	97%	100%	78%	19%
19	遊び、生活単元学習、作業学習は、他の取り組み（例えば、自立活動や職業/家庭）と連携が図れている。	保護者	50%	46%	4%	0%		82%	88%	88%	96%	4%
		職員	36%	53%	11%	0%		89%	100%	88%	89%	11%
20	「社会に開かれた教育課程」のために地域資源の活用や地域貢献など地域との連携を進められている。	保護者	28%	43%	28%	0%				80%	72%	28%
		職員	19%	39%	31%	11%				82%	58%	42%
21	個別の教育計画（個別の指導計画、個別の教育支援計画、個別の移行支援計画）について保護者と十分話し合い、経過や結果について丁寧な説明をしている。	保護者	74%	20%	7%	0%		94%	92%	95%	93%	7%
		職員	39%	53%	8%	0%		96%	94%	97%	92%	8%
22	パソコンやタブレットなどのICT機器を活用した取り組みは、有効に行われている。	保護者	33%	41%	24%	2%		59%	67%	68%	74%	26%
		職員	17%	64%	14%	6%		89%	91%	79%	81%	19%

V 職員

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答					
23	教職員は、熱意と情熱をもって教育活動にあたっている。	保護者	83%	17%	0%	0%		96%	96%	95%	100%	0%
		職員	72%	28%	0%	0%		96%	100%	100%	100%	0%
24	教職員は、子どもの気持ちを受け止めてきめ細かく対応している。	保護者	83%	17%	0%	0%		98%	96%	93%	100%	0%
		職員	58%	39%	3%	0%		96%	100%	97%	97%	3%
25	教職員の言葉遣い・態度など、職業人としてのマナーは適切である。	保護者	85%	13%	0%	2%		94%	98%	90%	98%	2%
		職員	50%	39%	11%	0%		93%	94%	94%	89%	11%

VI 児童・生徒

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答					
26	子どもは、「今日に満足し、明日を楽しみに待つ」学校生活を過ごしている。	保護者	80%	17%	2%	0%		88%	92%	93%	98%	2%
		職員	50%	47%	0%	0%		96%	100%	97%	97%	0%
27	子どもが、自分からやろうとすること（自分でやりたいと思うこと）が増えてきている。	保護者	72%	26%	2%	0%		88%	86%	95%	98%	2%
		職員	58%	42%	0%	0%		96%	100%	100%	100%	0%
28	子どもに、挨拶や着替え、社会のルール、働くことの意義など自立するために必要な力が身に付いてきている。	保護者	67%	26%	7%	0%		82%	90%	90%	93%	7%
		職員	36%	58%	0%	6%		100%	100%	100%	94%	6%

VII 附属の役割

番号	評価項目	回答者	A	B	C	D	無回答					
29	研究校として、実践的研究を行い、有用な取り組みを外部に発信している。	職員	25%	72%	0%	3%		97%	94%	97%	97%	3%
30	県内や地域における特別支援教育の推進に努めている。	職員	11%	72%	11%	6%		78%	72%	88%	83%	13%
31	大学や教育学部と連携が図られ、お互いに必要な関係となっている。	職員	19%	61%	17%	3%		83%	75%	79%	81%	22%
32	教育実習生に必要なかつ適切な指導を行い、有為な教員養成を行っている。	職員	22%	72%	3%	3%		86%	100%	97%	94%	3%

